



1月の図書館

令和7年1月8日
練馬区立上石神井中学校
学校図書館管理員 川崎

あけましておめでとうございます。いよいよ3学期になりましたね。
—富士二鷹三茄子といいますが、みなさんはどんな初夢を見ましたか？
今年も素敵な本との出会いがありますように！
図書館にはリクエスト本や新着図書がどしどし届いています。ぜひ足を運んで見に来てくださいね。



1月の開館日

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7☐	8 始業式	9	10☐	11	12
13 成人の日	14☐	15	16	17☐冬休本 最終返却日	18	19
20	21☐	22	23	24☐	25	26
27	28☐	29	30	31☐		

※☐マークの日は管理員のいる日です。

図書館開館時間は毎日昼休み、管理員のいる日（変更がある場合はお知らせします）の9:30～16:00です。

冬休みの貸出本は1/17(金)までに返却してください。

1/8(水)～1人2冊までの通常貸出に戻っています。

新しく入った本は、新着図書コーナーに展示しています。リクエスト本は1月に入ってもたくさん入荷予定ですので、自分のリクエスト本をぜひチェックしに来てください。

1 月は「読み初め 2025」を展示しています。

今年最初の展示は、書き初めならぬ「読み初め」！

どの本を読もうか迷ったら、**管理員特製オリジナルカルタ**で選んでみてはいかがでしょうか？オリジナル句(自由句)から本をあててみるのも楽しいかもしれません。



～今月の展示から～

図書紹介

☐ 『チェラブ』 ロバート・マカモア著 ほるぷ出版 93 頁

「チェラブ」それは 17 歳以下の選ばれた子どもだけで構成された国の情報局の裏組織。いくなればスパイ機関。大人では到底果たせないようなミッションを次々に果たし、裏社会に切り込んでいきます。元私立探偵だった著者が読書嫌いの甥っ子のために書いた、英国でベストセラーとなった本です。

☐ 『ミーナの行進』 小川洋子著 中公文庫 B913 頁

父が死んで母子家庭になった朋子は母の勉学のため、神戸の芦屋に住む、ドイツ人の血を引く喘息持ちの従妹ミーナの家で 1 年間を過ごす。ふたりの少女と家族のあたたかな時間がたくさん詰まった物語です。もともとは読売新聞連載小説、2007 年に本屋大賞で入賞しており、最近では米 TIME 紙「2024 年の必読書 100 冊」に選ばれました。

☐ 『アドラー流人を Happy にする話し方』 岩井俊憲著 王様文庫 146 頁

大人向けの本書ですが、根っこの部分は子どもも一緒。年齢なんて関係ありません。同じことでも言い方次第で人ともっといい関係に、自分も OK☺相手も OK☺なさわやか行動に変えられるハウツー本です。

12 月まちがいさがしの答え

12 月の貸出冊数

貸出	1A	1B	1C	1D	2A	2B	2C	2D	3A	3B	3C	合計	昨年
冊数	17	10	28	5	8	13	5	25	10	10	6	137	140
累計	160	55	307	80	38	78	86	117	60	88	50	1119	1726